


















SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名:

株式会社向洋設備工業

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																							
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17							
																													
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●		・事務所に経営理念を掲示し、毎月の全体会議時に唱和し共有している。												8	9								17			
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・就業規則により社内規定を定めており、いつでも閲覧出来るよう配慮している。																					16			
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・仕入先等に対し不当な値引き等ないか確認している。 ・会社として公正な取引に努め、社員にその重要性を発信している。															10						16			
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・担当者を任命している。自らの事業活動が、社会・環境に及ぼす正と負の影響(可能性)を把握している。																					16			
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・資料作成時等、知的財産を侵害することのないよう留意している。													8.2 8.3	9										
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・個人情報保護について就業規則に定め社員への周知をおこなっている。 ・社員と入社時には誓約書を交わしている。																					16			
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・工事現場や会議等で円滑なコミュニケーションを図っている。 ・資材高騰の影響が多くなり、無駄な端材を少なくするよう関連業者とアイデアを出し合い出来るだけの有効利用を図り価格への影響を少なくしている。 ・資材の納期の遅れが懸念されるケースが増えているため、早期発注出来る様に協議し、工期に影響がない様にしている。																				16	17			
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●							5								8		10			12	13	14	15	16	17	
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●																	9			11			13.1		16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		・事業承継に関するセミナー等に参加している。														8	9								17	
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●								1	2								8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・各種ハラスメントの禁止について、就業規則に定めている。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5							8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							16.1 16.2 16.7			
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・KY活動、安全パトロールを実施している。 ・会議や掲示板で事故事例の周知をしている。 ・社用車にドライブレコーダーを設置している。				3									8.8											
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・従業員の公正な待遇を行っている。														8.5		10.2 10.3								
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・業務効率化による労働時間の短縮等働き方改革に前向きに取り組んでいる。 ・有給休暇を積極的に取得出来るようにしている。				3	5.5								8.5 8.8		10.3									
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・試験、講習会等の必要経費を支給し、各種資格取得を推奨している。				4	5.5								8	9										
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・会社負担で年1回の健康診断を実施している。 ・毎朝ラジオ体操を行っている。				3									8									17		
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・性別 年齢 国籍 新卒、中途採用に関係なくすべての社員が活躍できる職場環境作りをしている。				4.4	5.1 5.5								8.5		10.2 10.3							16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●						3									8	9.1			11	12						
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・iPadでの図面管理、写真管理などで仕事の効率化を図っている。													8	9.1			11	12						
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●						3	4								8	9					12					

環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●	・環境汚染物質の使用抑制、リサイクル材の利用に取り組んでいる。 ・廃棄物の分別、適正な処理を行っている。							3.9					11.6	12.4		14.1	15.1															
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●	・簡易計算シートでエネルギー使用量を把握している。 ・社用車の一部をHV車とし、ガソリン使用量の削減に取り組んでいる。																13															
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●	・簡易計算シートでCO2排出量を把握している。 ・社用車の一部をHV車とし、CO2排出量の削減に取り組んでいる。					2.4									12.4	13	14	15														
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●	・工事現場において不要な場所を荒らさないようにしている。 ・廃材の分別と飛散防止をしている。 ・河川敷の清掃活動をしている。																	14	15													
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●	・再生材の利用をしている。 ・ペーパーレス化、裏紙の利用を促進している。 ・コーヒーカーズを肥料にしている。									9.4					12.2	12.4	12.5	14.1	15													
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●	・水栓に節水コマを取り付けて節水している。 ・節水型トイレを推奨している。					2.4									11.5			14.1	14.2	14.3	15	17										
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●	・配管布設後、浄化槽の埋め戻しに再生砂、路盤工事に再生クラッシュランを使用している。										9.4					12.4	12.5	13	14	15												
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●			1	2													6.4			12.3	14	15	17									
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●	・事業所の空きスペースを緑化するため花壇、植栽をしている。														11.6	11.7		13.1	13.3		15	17										
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●																		7.1	7.2	7.3	7.a	9.4	11.5	13.1	13.3							
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●																		6		9.4	11.3	11.4	11.5	12.2	13		15					
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●																		6.1	6.3	6.6		11.3	11.4	11.5	12.2	13		15				
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●	・熊本県とマイ・リバー・サポートの協定を結び、河川敷のごみ拾いを行っている。																					12.2	12.5		14							
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●	・一部の社用車をHV車にしている。																						9.4	11.2		13.1	13.3					
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●																																

